

人一能之己百之

高校（A）

行書

人一能之己百之 「人一（ひと）たびしてこれを能（よ）くすれば、己（おのれ）之（これ）を百たびす」。他人が一回でできることなら、自分は百回やってみる、という意味。努力を重ねれば、必ず目的を達成できるという教えです。「四書」の一つとして知られている「中庸（ちゅうよう）」に出てきます。

人一能之己百之

高校（A）

行書

人一能之己百之 「人一（ひと）たびしてこれを能（よ）くすれば、己（おのれ）之（これ）を百たびす」。他人が一回でできることなら、自分は百回やってみる、という意味。努力を重ねれば、必ず目的を達成できるという教えです。「四書」の一つとして知られている「中庸（ちゅうよう）」に出てきます。